公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

ハイライトよねやま

vol. 310
2026年1月14日
発行

1 第6代 よねやま親善大使 カ レ タオさん退任

昨年7月から第6代よねやま親善大使として活動してきたカ レ タオさん(ベトナム／2023-25／旭川RC）が、個人の事情により母国に帰国することとなり、2025年12月をもって退任となりました。これまでの献身的な活動に、心より感謝申し上げます。

〈退任のメッセージ〉

この活動を通じて出会った多くの方々とのご縁や、各地でいただいた温かいご支援は、私にとってかけがえのない財産です。親善大使として各地を訪問し、ロータリーの皆さまと直接お会いできたことは、日本の新たな一面を知る大切な機会となりました。米山奨学事業が人の思いと行動によって支えられていることを実感し、その理念は今後の人生においても私の指針となります。これからも一人の米山学友として、米山の精神を胸に、歩み続けてまいります。

2 ハラール体験で異文化交流

現在までに、米山奨学生の累計出身地は134の国と地域に及び、それぞれが異なる宗教や文化、価値観を持っています。今回は、米山奨学生とロータリー会員の相互理解を深める取り組みをご紹介します。

ハラール料理を囲んで一枚

第2610地区富山RCの柴田智弘会員は、クラブ会員らと奨学生のカリド サナさん(パキスタン／2024-26）との会話中、ハラールは肉を食べてはいけない、ということではないか、と誤解をしていたそうです。そこで、「実際に体験してみよう」と、サナさんおすすめのバングラデシュ料理店で、本場のハラール料理を味わう企画が実現し、ビリヤニやタンドリーチキンなどが提供されました。実際のハラールについて話を聞き、宗教や社会への理解を深める機会となりました。柴田会員はサナさんについて、学業や家庭について真摯に語る姿が印象的で、クラブ内でも「とてもまじめな奨学生」として親しまれていると話します。また、奨学生との関係を築く上で大切なこととして、「その国の文化や、相手が大切にしている価値観を尊重すること」を挙げられました。

3 寄付金速報 ― 下期普通寄付のお願い ―

前年同期比

−5.3%

普 -0.4%　特 -7.2%

12月までの寄付金は前年同期と比べて5.3％減（普通寄付金：0.4％減、特別寄付：7.2%減）、約4,500万円の減少となりました。当月は500万円の寄付を含む大口寄付が8件ありました。ご支援に厚く御礼申し上げます。1月13日に「2025年度下期普通寄付金のお願い」を各クラブへお送りしております。年初早々からのお願いとなりますが、引き続きご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

第2750地区米山学友会 創立10周年記念式典
「感謝の10年、飛躍の未来」
開催のご案内

■開催日時：7月26日（日）13:00〜16:30

■会場：アルカディア市ケ谷 私学会館

※申込期限は7月10日（金）まで※

詳細はこちら

4 米山学友初の遺言寄付 ― 次世代に託す「志」 ―

米山学友として初めて遺言寄付を申請された林小微（リンシャオウェイ）さん（1983-84／和歌山東ＲＣ）が2024年12月7日、ご逝去されました。

関西米山学友会会長を務めた林さんは、会長在任中に台湾や韓国の学友会を訪問し、学友会の関係構築に尽力されました。また、当財団設立 50 周年記念式典のフォーラムに登壇されるなど、幅広く活躍されました。

当財団では 2000 年度より「遺言寄付制度」を設け、事業の趣旨にご賛同くださる方々のご意思をお預かりしています。林さんは2009年1月、「学友にもこのような制度があることを知ってほしい」との思いから、米山学友として初めて遺言寄付を申請。さらに2017年3月には2回目の申請を行い、当事業への変わらぬご支援の意思を示されました。林さんが逝去された後、ご家族は深い悲しみの中にありながらも、故人のご遺志を大切に守り、遺言寄付を実現されました。心より感謝申し上げます。

林さんが遺された志は、当事業を通じて次世代を支える大きな力となっていきます。ここに謹んで哀悼の意を表し、故人のご冥福をお祈り申し上げます。

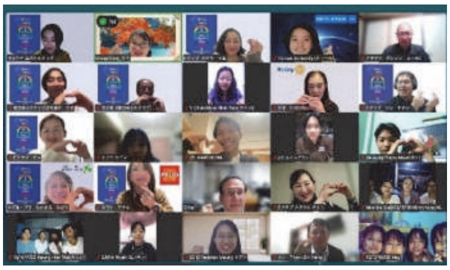
5 台湾米山学友会 総会開催

12月6日、台湾米山学友会の年次大会が台北市内で開催され、約80人が参加しました。

盧本文理事長（1984-86／松原ＲＣ）の開会の挨拶で幕を開け、当会からは井原實副理事長が出席し、祝辞を述べました。同学友会は独自で現地日本人奨学生を長く支援しており、出席した奨学生の紹介が行われ、温かい拍手が送られました。また、前日5日に前夜祭、6日午前に小旅行が開催され、多くの参加者が集いました。

6 ミンガラ奉仕デー 田中作次奨学生日本語カフェ開催

米山学友を中心に設立されたロータリークラブである東京米山ロータリーＥクラブ 2750 の活動の一つに、「田中作次奨学金」があります。これは、元国際ロータリー会長である田中作次氏の冠名奨学金として、ミャンマーの若者への教育支援を目的に 2017 年に始まりました。ミャンマー米山学友会と連携し、学友自身が現地奨学生の選考を行っています。



12月21日、東京米山ロータリーＥクラブ2750とミャンマー米山学友会による合同企画「第13回ミンガラ奉仕デー 田中作次奨学生日本語カフェ」がオンラインで開催されました。今年度は、大規模な地震被害に見舞われた地域への支援も目的とし、同地域の学生14人を含む22人が選抜。奨学金授与式も行われました。当日は「日本とミャンマーの違い」をテーマにグループに分かれて交流。同クラブの長崎智香子会長は、「ミャンマーが厳しい情勢の中、開催できてうれしいです。日本語での交流を楽しんでほしいです」と語りました。

海外米山学友会総会情報

◆タイ◆ 2月21日（土）16:30～ Royal Naval Institute 開催
（参加申し込み先：n.pechnin@gmail.com）

★10周年 **◆マレーシア◆** 3月14日（土）～15日（日） Millennia Village 開催
申込期限：1月31日（土）（参加申し込み先：yoneyama.malaysia@gmail.com）

★10周年 **◆スリランカ◆** 5月31日（日）16:00～20:00 AMARI HOTEL 開催
申込期限：2月28日（土）（問い合わせ先：yoneyamasrilanka@gmail.com）

マレーシア総会　スリランカ総会

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル 3F
Tel：03-3434-8681 Fax：03-3578-8281
E-mail：highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL：https://www.rotary-yoneyama.or.jp/
編集担当：長尾（ながお）